

報道関係者各位

2026年5月26日 配信 No.2026-11
立命館アジア太平洋大学 (APU)**【APU開学25周年記念企画】「ちがい」を価値に変えるキャンパスへ。
アートでAPUを彩るプロジェクトがイベント「アートとD&I」開催
ヘラルボニー、BEPPU PROJECTと連携**

立命館アジア太平洋大学（所在地：大分県別府市、学長：米山裕、以下APU）は、開学25周年事業の一環としてキャンパスをアートで彩る「キャンパス・アートギャラリー構想」の推進を開始しました。このたび、イベント「アートとD&I」を、地域の方々、学生、教職員に向けて開催します。

世界122カ国から学生を迎え、豊かな多様性を有するAPUでは、D&I（ダイバーシティ & インクルージョン）をさらに広く、深く育ててゆきたいと考えています。固定された正解がなく、多様な解釈を受け入れるアートには、「一人ひとりのちがい」を尊重する懐の深さがあります。本構想では、アートを通して、年齢、性別、障害の有無、価値観など、あらゆる“ちがい”を尊重するAPUの意思を表明するとともに、学生、地域の方々とD&Iを実践する場づくりを目指します。

本構想ではこれまで「異彩を、放て。」をミッションに障害のイメージ変容と新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニー「ヘラルボニー」と連携し、学生、社会へ向けた「共創コンセプト」の制作や、障害のある作家によるアートパネルの展示を行ってきました。

このたび、構想のイベント第一弾として、体験型イベント「アートとD&I『みる・つくる・考える』」を開催します。本イベントは、株式会社ヘラルボニー、アートNPO法人 BEPPU PROJECT、大分県を拠点に活躍する作家や美術家をゲストに迎え、参加者が実際に作品を「見る」「つくる」「対話する」体験を通じて、多様性とアートの関係を実感できる内容となっています。

【開催概要】

日時：6月13日（土）13:30～15:50

場所：立命館アジア太平洋大学 グリーンcommons（J棟）

参加費：無料

対象者：どなたでも ※手話や字幕のサポートが必要な方は、お申込みの際にお知らせください。

申込み：5月31日（日）〆切。定員40名、先着順。

【タイムテーブル】

13:30 トーク「ヘラルボニーとの取り組み」

14:00 体験 ※以下から選択

①対話型アート鑑賞会（先着10名）

②絵画ワークショップ（先着30名）

15:10 パネルディスカッション「アートとD&I」

※当日10:00-11:30、関連イベント「BEPPU PROJECTと巡る 別府市街『アートツアー』」開催

イベント詳細は、下記URLまたは右記QRよりご確認ください。

<https://www.apu.ac.jp/home/artcampus/projects/event-01/>

【イベント詳細】

トーク「ヘラルボニーとの取り組み」

ヘラルボニーの取り組みを紹介するとともに、ヘラルボニーとAPUの担当者が、共創コンセプト開発に込めた想いをお話します。

登壇者：藤井 愛麗 氏（株式会社ヘラルボニー ビジネスプロデューサー）
杉山 美帆（APU職員）

体験 ※参加者は、申し込み時に以下のいずれかを選択

アートを通して他者と関わりながら、感覚を開くことで、包摂性を育むとともに、アートへの親しみを深めます。

対話型アート鑑賞会

全盲の唸家ザトー氏のファシリテーションで、参加者同士で対話をしながら作品の鑑賞を深めます。

ザトー 氏

大分県大分市生まれ。23歳の時に失明し、現在はインディーズ落語家として、大分、福岡で独演会やイベント出演、講演等で活動している。目の見える見えないに関わらず、様々な人とアートを楽しむ対話型鑑賞のファシリテーションも行う。

絵画ワークショップ

美術家木村氏のガイドのもと、グループごとに一つの絵画を制作します。

木村 秀和 氏（美術家）

東京造形大学で彫刻を学ぶ。卒業後、造園業、林業などの仕事に従事。2000年に大分県杵築市山香町で山仕事の作業中、事故で脊椎を損傷し車椅子生活になる。2008年頃から社会福祉法人萌葱の郷で自閉症の人たちの美術制作をサポートしている。現在、自由即興の会「モガリブエ」を主宰して音や動きによるコミュニケーションについて実験している。

パネルディスカッション「アートとD&I」

アートを入口に多様な人が交わる場を生み出すBEPPU PROJECTのディレクター家入氏と、認知心理学者で国際経営学部副学部長の平原准教授が、アートがどのようにひらかれたD&Iの場をうみだせるかを考えます。

パネリスト：

家入 健生 氏（NPO法人 BEPPU PROJECTディレクター）

熊本生まれ。立命館アジア太平洋大学卒業。在学中よりBEPPU PROJECTにて、国際芸術祭『混浴温泉世界』などの運営に携わる。市立美術館『アーツ前橋』に勤務したのち、2018年より現職。アーティストの滞在制作事業や移住定住促進に関する各種事業など、地域でのプロジェクトに携わる。

平原 憲道（APU国際経営学部 副学部長、准教授）

東京大学大学院医学系研究科研究員、慶應義塾大学医学部助教、国立マラヤ大学医学部准教授等を歴任。起業や組織開発、イノベーションを専門とし、医療ビッグデータや認知科学の研究にも従事。国内外の大学で教育・研究に携わり、公共講座でも活躍。博士（認知科学）。

モデレーター：

田原洋樹 (APU 学生部長、アジア太平洋学部教授)

ベトナム語およびベトナムの現代音楽を専門とし、最近の関心は「異郷で老いる」在外ベトナム人の言語動態。長年ベトナム語教育に携わり、辞典や語学書などを多数執筆している。学生部長として学生に寄り添い、学びと活動を日々サポートしている。

【関連イベント】

BEPPU PROJECTと巡る 別府市街「アートツアー」

BEPPU PROJECTによる、市街地のアートスポットを巡るツアーです。アーティスト専用アパート「清島アパート」や点在しているアート作品を訪れます。街角で思わず足を止めてしまうアートや、作品が生まれる場所を実際に歩きながら、アートが街に与えるインパクトを体感してください。

開催日時：6月13日（土）10:00-11:30

集合場所：JR別府駅東口 手湯前（集合時間：9:50）

開催言語：日本語

参加費：一般 2,000円、APU学生 1,500円

ガイド：BEPPU PROJECT スタッフ

キャンパスアートギャラリー構想

特設WEBページは以下よりご確認ください。

<https://www.apu.ac.jp/home/artcampus/>

